

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(金)・六日(土)
午前九時半より(午前のみ)

※皆さんが安心してお参りいただけるよう、コロナ感染
予防対策にご協力のほど宜しくお願い致します。



今号の法語



ここにある

争いの根は

「私は正しい」



今号の内容

- ・広済寺前の道路改修が完成!
- ・仏事の疑問Q&A くお地蔵さんく
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム



「争い」はどうして生まれるのでしょうか?それはどうやら、「私は正しい!」というあの感情に関係しているようです。

過去のケンカを振り返ってみても、「私(こちら側)が正しい!」という思いになつてはいなかったでしょうか?「私が正しい!」という思いが強ければ強いほど、大きなケンカに発展していったような気がします……。

しかしそれは当然のことかもしれません。「私が正しい!」というのは、「あなたが間違っている!」と相手を否定してしまっているわけですから。相手にも「私が正しい!」という思いがあるでしょうし、相手を否定しては会話にはなりませんよね。

様々な人と意見を交換していくのは大事なことです。ならば自分の意見をどう伝えるか。そして相手の意見にどう向き合うのか。他者と向き合う時には、どこまでも相手を尊重していく姿勢が自らに問われてくるのでしょうか。分断のない社会、コミュニケーションできる社会にしていきたいものです。

広済寺前の道路改修が完成！

前号お知らせしておりました広済寺前の道路改修工事が十月二十九日に完成しました。おかげ様でなんとか来月の報恩講に間に合わせる事ができました。

今回の工事目的であったク



ランク状の交差点については、車の出入りがしやすくなり、大きく改善されたように思えます。バスなどの大型車両も随分入りやすくなったのではないのでしょうか。早くコロナ禍が収まり、また皆で旅行などを企画できればと今から楽しみにしています。

今回の工事でお寺前の交差点は相当にスムーズになりそうです。ですがもちろんのこと、それは危険も伴います。スピードを出して交差点に入ってしまう車も増えるかもしれない。交差点に入るときは必ず一旦停止するなど、安全には十分に気を付けてください。皆が安全に過ごせるよう、ご協力宜しくお願いいたします。

仏事の疑問 Q & A

質問 お地藏さんって

どんなお方なんですか？

普段生活していると、いろんな所でお地藏さんをお見かけしませんか？いやいや、ただ前を通り過ぎるだけって方も私含めて多いと思います(笑)

このお地藏さんの由来は、いろんな教えや俗習などが重なりあつて、多様なものとなっています。

また、村の外からやって来る疫病や悪霊を防ぐための「道祖神」の意味もお地藏さんにはこのような理由によるからでした。

お地藏さんは、六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天)を巡り、苦しむ人々を救うといわれ、昔話「かさ地蔵」にてくる六体地蔵は、この六道に由来しているそうです。

ともあれ、お地藏さんは、私たちが無視して素通りしようとも、私たちに向かつていつも手を合わせ合掌してください。

そして、死後の世界といわれる「賽の河原」で苦を受け続ける子供を救うのが地蔵菩薩とされ、お地藏さんといえはた。

拝まないものもおがまれている
拝まないときもおがまれている
阿弥陀様のおはたらきと重なるのもお地藏さんのお姿でした。

千夏ちなつのきときと日記

最近私の体が増えてきたもの…。若院じやくいんにも増えてきました。体重？しわ？へりくつ？それもそうなのですが(笑)、二人仲良く増えてきたものは白髪です。前まではお互いの白髪を抜き合うこともあったのですが、今は増えすぎてお互い見て見ぬふりです。

お釈迦さまのことばに「このようなものがあります。」

頭髮が白くなったからとて「長老」なのではない。ただ



年をとったただけならば「空しく老いぼれた人」と言われる。誠あり、徳あり、慈しみがあって、傷きずなわず、つつしみあり、みずからととのえ、汚れを除き、気をつけている人こそ「長老」と呼ばれる。簡単に説明すると、年を重ねるだけではからっぽの大人になつてしまうということだそうです。自分自身の考えや行動が前よりも成長しているか、自分自身を見つめなおすことが大切だという意味です。

なかなか厳しいことばですが、この限られた私たちのいのち。ポーっとはしてられません！ただの白髪のおばさん、そしておばあさんにならないよう、日々学ばせていただきたいと思っています。

住職コラム

コロナ禍はようやく柔らくなり

まりましたが、油断はできません。今まで以上の感染も予想されるようで、マスク・手洗い・過密にならないよう必ず実行しなければならぬようです。

あれやこれやとと思っている間も、季節は見事に変化しています。



今、お寺の銀杏の木の下は一時車の通行止めをしています。銀杏の実が踏まれるとすごい臭いがでます。

しかし紅葉が始まると、晴れた秋空の時には吸い込まれるような景色になり、二本の銀杏の木が何か話しかけているようです。今はまだ青々として実だけをボタンボタンと落としておりますが、お寺へ散歩がてら見に来てください。

いつも育まれ励まされている私。「ありがとう」とお念仏を申し上げたいと思います。

なまんだぶ 合掌

お知らせ

令和三年

おみがき

十月二十六日(火)

午前九時より

報恩講

十一月五日(金)・六日(土)

午前九時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳師



広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※永代祠堂経法要について

十一月五日(金)午後より

寺族のみの少人数で勤めさせていただきます。

※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせていただきます。



編集後記

コロナ感染者数も一時に比べ随分と収まった状態が続いています。減少の要因が未だ不明確なのは心許ないですが、少しずつ社会の動きも前に進み始めてきました。

広済寺の報恩講も、護持会常任委員会にて話し合われ、おかげさまで今年もお勤めすることにになりました。お斎(食事)接待については昨年に引き続き遠慮させていただくことになりましたが、春のお彼岸以来、久しぶりに皆さんとご一緒にお勤めできることは本当に嬉しい限りです。

さて、先日「平成の怪物」といわれた松坂大輔投手の引退試合が行われました。全盛期は一六〇キロ近くだった球速も、最後は一一八キロ。痛み

や痺れなど、体の状態が如何に大変だったかが伝わってくる姿でした。甲子園やプロデビュー時の姿もカッコよかったですが、本人曰く「諦めの悪さを褒めてやりたい」と言い切れるほど、ボロボロになりながらも野球に向き合い、最後私たちに今のありのままを全力で見せてくれました。あの姿もまたファンの心に強く残ったのではないのでしょうか。

未だ終わりそうにないコロナ禍ではありますが、いつかは必ずコロナ禍を克服できる日はやってきます。ウイルスそのものだけでなく、それによる人間関係など様々な問題もあります。その一つ一つに目を向け、人間の可能性に「諦めず」向き合う時、コロナ禍の終わりを世界中で喜べる日が来ることを願っています。